

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第1回春日学園コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		2025 年 5 月 27 日（火） 開会 10:00 閉会 11:30			
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	安部 綾乃 桐生 修 森田 修司 樋口 直宏 色川 純子 間野 聡子 春日学園義務教育学校 校長 増田 真智子 副校長 中井 玲子 教頭 中島 良浩 加瀬 雄一 教務 柴崎 英二 教諭 南島 遥奈			
	その他				
	事務局	教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏			
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開		傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由					
議題		1 学校運営の基本方針について 2 昨年度までのコミュニティ・スクール協議会について 3 熟議「防災フェスタ（仮称）の実現に向け、それぞれの立場で できること。」			
会議録署名人				確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会			
	2	任命書交付			
	3	挨拶			
	4	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて			
	5	会長・副会長の選出			
	6	協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 昨年度までのコミュニティ・スクール協議会について (3) 熟議 テーマ「防災フェスタ（仮称）の実現に向け、それぞれの立場で できること。」 (4) その他 ・今後の連絡方法について ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について			
	7	閉会			

<審議内容>

- 1 開会
- 2 任命書交付
- 3 挨拶

・学校長挨拶

4 説明事項：つくば市コミュニティ・スクールについて（酒井地域連携教育指導員）

- (1) つくば市の教育が目指すもの
- (2) つくば市のコミュニティ・スクールとは

5 会長・副会長任命

会長：樋口 直宏 副会長：桐生 修 →承認

- ・学校から児童生徒会 8 名の協議会参加を提案
- ・樋口会長 →了承

6 協議

(1) 学校運営の基本方針

学校長からの学校運営の基本方針についての説明

- ・未来を拓き社会に貢献できる人材の育成を教育目標に掲げている。
- ・みんなが幸せを実感できる学校にしていきたい。

→「安心・安全」「授業や勉強が分かる」「成長を実感できる」「平等・公正な環境」があれば、児童生徒が幸せを実感できるのではないかと考えている。

- ・学校は子どもたちのものであるという考えのもと、児童生徒会スローガンも取り入れ、生徒の思いも反映したグランドデザインとしている
- ・いじめのない笑顔あふれる学園の実現に向けて、KASUGA Smile Project を実施していく。
- ・「ゆたかな感性」「しなやかな知性」「たくましい心身」に挙げている具体的な手立てをうちながら、自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成を目指す。

◎委員から承認される。本内容で学校運営をしていく。

地域と学校の連携事業概要説明

柴崎教務より令和 7 年度の予算計画の説明

（質問）学校ボランティア謝礼について（森田委員）

— 昨年度までの活動との整合性を図る必要がある。

(2) 昨年度までのコミュニティ・スクールについて

柴崎教務より昨年度の協議内容及び今年度の計画について説明

- ・昨年度の協議会において「地域づくり」というキーワードが挙げられた。
- ・今年度は「地域づくり」を目的とした「防災フェスタ」を実施する。

（質問）・学校としてではなく、学校外の立場でできることを考えるのか。

（森田委員）

— 学校にやってほしいことではなく、各委員さんの立場でできることを挙げていく。

・参加者のイメージについて（樋口委員）

— 25 日土曜日を登校日とし、6～9 年生が出し物を実施、1～5 年生は参加のみ、保護者も自由参加

・活動時間や場所の想定について（色川委員）

— 11 時半には下校とし、グラウンドや校舎内も使用可

(3) 熟議 テーマ「防災フェスタ（仮）の実現に向け、それぞれの立場でできること」

【Aグループ】

- ・今年度が出発点となるため、地域の方の興味を高め、参加していただけるかが重要である。
- ・リアルを意識した活動：シミュレーション、水のろ過、簡易ベッドやトイレ
- ・児童生徒に向けた啓蒙活動：前期課程の児童が楽しみながら学べる活動
- ・現状把握や備えに関する活動：フィールドワーク、防災倉庫の中身

【Bグループ】

- ・避難所：避難所のシミュレーション、非常食の試食
- ・体験：はしご車等、キャンプ疑似体験、心肺蘇生、段ボールベッド
- ・衛生面：トイレの使い方、感染症対策

【Cグループ】

- ・誰が準備するかを考えた話合いを実施
- ・学校：避難所の再現、防災グッズ体験
- ・児童生徒：シフト制の活動、防災バック、Q&A
- ・地域・保護者：火起こし体験、消防署、警察署
- ・専門家：Q&A

【Dグループ】

- ・リアルな防災を意識して実施することで、災害について考える機会していきたい。
- ・リアルな防災：消火体験、煙体験、自衛隊による災害時の実情について
- ・地域の方との連携：OBやOGが行う出し物、PTAの方が実施する出し物
- ・地域に開く機会：入学前の保護者を招待し、防災についての説明、子ども食堂の実施

(4) その他

- ・今後の連絡方法について
- ・今度のCSの予定について（柴崎委員）
 - 第2回春日学園CS協議会 7月8日（火）13：30～
 - 第3回春日学園CS協議会 10月21日（火）13：30～
 - 第4回春日学園CS協議会 2月19日（木）10：00～

令和 7 年度第 1 回春日学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和 7 年 5 月 27 日（火）10：00～

場所：春日学園義務教育学校 D 棟 2 階多目的室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 昨年度までのコミュニティスクール協議会について

(3) 熟議 テーマ「防災フェスタ（仮称）の実現に向け、それぞれの立場
でできること。」

(4) その他

・今後の連絡方法について

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

令和7年度 春日学園義務教育学校コミュニティ・スクール協議会
(第1回：5月27日 火曜日)

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	安部 綾乃	前PTA副代表
2	(2) 児童・生徒の保護者	白井 奈々絵	吾妻まつり協力者PTA副代表
3	(2) 児童・生徒の保護者	桐生 修	
4	(3) 地域学校協働活動推進員	森田 修司	PTA代表
5	(3) 地域学校協働活動推進員	吉田 和宏	前PTA代表
6	(4) 学識経験者	樋口 直宏	筑波大学教授
7	(5) 各学校長	増田 真智子	学校長
8	(6) 教職員	中井 玲子	副校長
9	(6) 教職員	中島 良浩	教頭
10	(6) 教職員	加瀬 雄一	教頭
11	(6) 教職員	久保 絵美	教務主任
12	(6) 教職員	柴崎 英二	教務主任
13	(6) 教職員	南島 遥奈	教諭
14	(7) 関係行政機関の職員	色川 純子	春日交流センター所長
15	(8) 教育委員会が適当と認める者	間野 聡子	特定非営利活動法人ままとーん理事
16	(8) 教育委員会が適当と認める者	吉田 真由美	日本語教室ボランティア
17	(2) 児童・生徒の保護者	桐原 奈緒也	PTA副会長
18	(5) 各学校長	奥沢 志乃	
19	(6) 教職員	大津 裕明	教頭
20	(6) 教職員	三村 弘樹	教務主任
21	(5) 各学校長	渡邊 聡	
22	(6) 教職員	高崎 満	教頭
23	(6) 教職員	横山 賢裕	教務主任
24	(5) 各学校長	大村 千博	
25	(6) 教職員	稲垣 章一	教頭
26	(6) 教職員	末永 康子	教務主任
27			
28			
29			
30			



令和7年度 つくば市立春日学園義務教育学校グランドデザイン



どこよりも早く明日の教育に出会える学園
You can attain modern style of Education KASUGA.

【茨城県教育目標】

- ◇ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ◇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ◇郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学校教育目標】

未来を拓き
社会に貢献できる人材の育成

【目指す児童生徒像】

しなやかな知性 ゆたかな感性
たくましい心身

【目指す教師像】

子供の気持ちに寄り添う教師
自ら学び子供と共に成長する教師

【つくば市の目指す学園・学校像】

みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校～

【つくば市で目指す考え方の転換】

- ①「教え」から「学び」へ
- ②「管理」から「自己決定」へ
- ③「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

義務教育9年を貫く学びの連続性（系統的な指導、多様な異学年交流、リーダー学年の活躍の場）

前期（1年～4年）
～学びへの意欲・定着～

中期（5年～7年）
～主体的な学び・拡充～

後期（8年～9年）
～学びの深化・発展～

安心・安全

授業や勉強
が分かる

成長を実感
できる

平等、公正
な環境

みんなが幸せを実感できる学校

【児童生徒会スローガン】

無限の輝き～九つの思いをつなぎ、だれもが輝ける幸せな学園～

KASUGA SMILE PROJECT

①行事の充実 ②あいさつ ③エンカウンター

春日学園憲章 Advance Brave Creative

【組織目標】自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成

ゆたかな感性

★自分なりの目で物事を見て、自分の心で深く考えようとする姿

①豊かにかかわり合う力の育成

- 人権意識を育む環境づくり
- 学級活動や児童生徒会活動等における自発的・自治的な活動の推進
- SDGsを意識した、実社会とつながる学びへの深化
- 外部人材を活用した豊かな体験活動

②児童生徒支援の充実

- 納得と感動（なぜ？わかった！できた！）のある授業づくり
- 互いに認め合い、励まし合い、関心を抱き合える集団の構築
- 自己肯定感や自己有用感の育成
- 児童生徒の主体的な活動の充実

③道徳教育の充実

- 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
- いじめの未然防止に向けた、「考え、議論する道徳」への質的充実

- ★自分にはよいところがある。
（前期：85%以上 後期：80%以上）
- ★いじめは、どんな理由があってもいけないうことだと思う。
（前期：100% 後期：100%）

しなやかな知性

★その状況に応じて、必要なものを活用して課題を解決しようとする姿

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- 自ら課題を発見し、多様な他者と協働して試行錯誤しながら解決する教育活動の充実
- 教科担任制による専門性を生かした魅力ある授業

②ICT教育の推進

- 思考を助ける手立てとしてのICT活用
- 情報モラル教育の充実
- 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 9年間を見通したプログラミング教育と生成AIを活用した授業
- オンライン（遠隔）授業の導入

③自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

- 一人一人の教育的ニーズに合った適切な支援
- OUDの視点による授業づくり

- ★課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
（前期：85% 後期：90%以上）
- ★話合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。
（前期：85%以上 後期：85%以上）

たくましい心身

★命の尊さを知り、困難なことにも前向きに立ち向かおうとする姿

①自己理解・自己管理能力の育成

- 振り返りの充実によるメタ認知能力の育成
- 自己の生き方を見つめる系統的なキャリア教育

②健やかな身体づくり

- 基本的生活習慣の定着
- 薬物乱用防止教室、命の教室等の充実
- 運動量の確保と継続して運動に親しむ態度の育成

③安心・安全な教育環境づくり

- 危機回避能力を育てるための計画的な防災・安全教育
- 教育相談の充実とSC、SSWとの連携・チーム支援の充実
- 不登校児童生徒支援Sルーム（たいう）の充実

- ★難しいことでも失敗を恐れなくて、挑戦している。
（前期：75%以上 後期：70%以上）
- ★何でも相談できる人（友達、先生、家の人など）がいる。
（前期：90%以上 後期：85%以上）

【働き方改革の推進】 ①義務教育学校の特色を生かした協働体制の確立 ②部活動の地域移行の推進

【コミュニティ・スクール】 地域とともにある学校づくり・人づくり・地域づくり